

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	クオリティ・オブ・ライフ石岡支援教室			公表日	2026年 4 月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	86%	14%	カリキュラムによってテーブルやイスを移動してスペースを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	職員の配置は適切です。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	43%	57%	入口の内扉に段差があるがつまづき防止を設置しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	86%	14%	毎日の清掃・消毒を徹底して清潔な環境を維持しています。	広さは適切ではあるが1フロアの為、今後は高学年や低学年での配慮を考えていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	57%	43%	事務室兼静養室にて対応しています。	個別の部屋がないので仕切り等での改善を考慮していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	86%	14%	定期的に支援ミーティングを開催し児童の成長と課題の共有に努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	86%	14%		保護者向けの評価は適切に行っているが、職員間でフィードバックする機会が足りないので、会議をしていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	86%	14%	職員の意見等を把握する機会を設けて業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	14%	86%		外部評価が行っていないので今後は第三者評価の導入を検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	86%	14%	オンライン研修も活用し、参加しやすい体制を整えています。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	適切に支援プログラムを作成し公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを適切に行い放課後等デイサービス計画をたてています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	計画作成前にケース会議を行い、関係職員全員での意見を共有しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	計画を職員間で共有し、日々の支援記録と照らし合わせながら実践しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	86%	14%	HUGシステムを用いて、日々の行動観察等を行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	ガイドラインの視点（本人・家族・移行・地域連携）を意識し計画を作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	71%	29%		一部の職員に偏りが出ないように、全職員が意見を出せる体制を強化します。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	情報収集を行い日々新しいプログラムを行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	子供の状況に応じて、個別活動と集団活動をバランスよく設定しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	その日行われるプログラムを職員間で把握して役割を決めている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	57%	43%	システムのケア記録にて共有を行っている	支援終了後に打合せをする時間の確保が出来ない時がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	86%	14%	支援後すぐに記録を行い、事実に基づいた記載を心がけています	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	定期的にモニタリングを行い、変更内容は職員間で共有し支援に反映させています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	86%	14%		現在、地域交流が余りできていないので今後は導入をしていきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	86%	14%	小さな選択場面を日常的に取り入れ、成功体験を積めるよう支援しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	86%	14%	会議の内容は職員間で共有し、支援に反映させています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	71%	29%	必要に応じて医療機関や関係機関と連絡をとりあっています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	86%	14%	学校との年間計画や行事予定の共有を行なっています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	就学前の支援内容や配慮事項について情報提供をうけています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	29%	71%	対象者がまだいない	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	71%	29%	必要に応じて助言や研修を設けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	57%	43%	地域行事やイベント情報を把握し、参加できる機会を設けています。	放課後児童クラブや児童館との具体的な連携方法を検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	43%	57%		オンライン開催等も活用し、参加しやすい体制を整えます。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	86%	14%	保護者様との情報の交換を行い支援に取り組んでいる。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	29%	71%		まだ家族等の参加できる研修の機会や情報提供等ができていない為、今後導入していきます。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に丁寧に説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	保護者様より情報提供をして頂きそれを基に作成し、確認修正を行い最終作成をしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	送迎時等にお話しを聞き、必要に応じて面談の時間を設けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0%	100%		まだ保護者会を開けていない為、今後導入していきたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	86%	14%	苦情の対応をする体制を設置し対応する担当者をきめています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	インスタグラム等を定期的に発信して保護者様に活動内容を分かりやすくしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報の管理は十分に留意し管理しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	保護者様のお悩みやお子様の情報共有を日頃から行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	29%	71%	年1回公共の施設をおかりして発表会を行っている。	地域行事には参加はできているが、事業所の行事などに招待ができていないので今後検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各種のマニュアルを作成し、発生した想定をし訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	年2回の避難訓練、消火訓練・通報訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	てんかん発作時の対応を外部講師を招いて確認をおこなっている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	71%	29%		アレルギーは把握しているが、医師の基づく指示書までないので今後導入していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	86%	14%	安全計画を作成し、必要な研修や訓練をおこなっています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	86%	14%		安全計画に基づく取り組みは行っているが周知までできてはいないので、今後周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	86%	14%	職員間で共有を行ない再発防止策を実施しております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保し、適切な対応をとっております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	契約時に状況の場合によりやむを得ず身体拘束を行うかの説明を行い、同意を得た上で計画に記載をしています。		